



2012年12月号 No. 20

えひめ



Contents

- ・現場だより 松山空港誘導路改良工事
松山みなと見学会－開催報告－
- ・News&Topics 平成24年度 優良工事等事務所長表彰を実施しました。
「みんなの生活展2012」に参加しました。
八幡浜港みなとオアシス「じゃこカツ」第3位！
「第4回みなとオアシス全国協議会総会」が開催されました。
「中四国・瀬戸内クルージングサミット」が開催されました。

松山港に入港したクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」
2012.10.29撮影

大震災をどう伝えるか

今年もあと1ヶ月位となり、寒い季節がやって参りました。どの職場、組織も多忙な時期であるとは思いますが、私ども松山港湾・空港整備事務所においても、本年度実施する松山港泊地浚渫工事、松山空港誘導路改良工事とも夜間工事を行うなど、現場は急ピッチで進んでいます。

しかし、松山港湾を含め四国地方整備局管内において、今年の上工事、例年に比べ、工事故が多くなっています。厳しい工程・気象条件など個別に様々な理由があるとは思いますが、工事関係者の皆様には、十分注意して頂けたらと思っています。

東日本大震災から1年半以上が経過しました。被災地では、今でも復旧・復興のためにご尽力して頂いている皆様がたくさんいらっしゃると思います。そうした中、本年3月内閣府が主催する「南海トラフの巨大地震モデル検討会」において、太平洋沿岸の各地の想定津波高の公表値には、おそらく多くの方が大変驚かれたと思います。そして、国や地方自治体、さらには、自主防災組織、学校などの教育機関など防災に関わる多くの皆様が、巨大津波への対応策について頭を悩ませていることと思います。

私もその頭を悩ませている一人ですが、そのような中、港湾や空港分野において、県内の港湾を利用する皆様に、東日本大震災における国土交通省（特に東北地方整備局）の取り組み、四国における地震・津波の被害予測とその対策について、お話を頂く機会を得ました。

震災における地震、津波の被害状況をはじめ、当方のプレゼンに関心を持って聞いてくださったのは大変有り難かったのですが、我々国土交通省の取り組みについて、まだしっかりとご理解されていなかったところもありました。

これを期に、大震災を踏まえた地震、津波対策の検討はもちろんですが、広く皆様に、港、海、船、インフラ、さらには震災時に港はどういう役割を果たしたのか、今後もしっかり伝え、東日本大震災を風化させてはいけなを考えております。そのためにも、引き続き港湾、空港の関係者に限らず、広く関係各位のご協力、ご指導をお願いいたします。



松山港湾・空港整備事務所長
東平 伸



現場だより

○松山空港誘導路改良工事

松山空港は、国内線6路線（東京、中部国際、伊丹、福岡、鹿児島、沖縄）、国際線2路線（ソウル、上海）の就航路線を有し、年間約230万人が利用する空港です。滑走路の延長はなんと2,500m！

その松山空港の滑走路・誘導路ですが、整備から20年近くが経過しており、経年劣化等による舗装のひび割れや、航空機の往来による轍（わだち）掘れが生じています。そのため、当事務所では平成19年より滑走路・誘導路の改良工事を実施しています。

平成21年で滑走路の改良工事については完了したため、現在は誘導路の改良工事を実施しています。供用中の空港内の整備ですので、航空機の運航に支障が出ないように工程管理を厳重に行った上で、夜間に工事を実施しています。



①古くなったアスファルトを削り取ります。



②新しいアスファルトを敷き均します。



③ロードローラーで締め固めて完成です。



○松山みなと見学会 – 開催報告 –

21回目を迎えた「松山みなと見学会」
今年は、8月8日(水)に開催しました。

①「今日は楽しんでいて下さい！」
東平所長の挨拶でスタート！



②事業概要説明では模型で説明。
どうして深い岸壁が必要なのかな？



③海面清掃兼油回収船「いしづち」の船内を見学。大きなクレーンで約3mの流木を掴む
シーンは迫力満点！！



短い時間ではありましたが、参加して頂いた皆様には、
思い思いに“みなと”を楽しんで頂きました。

参加してくれた小学生から、こんな声を頂きました。

- ・「大きなクレーンがある！」
- ・「この船はいつも何してるんですか？」
- ・「ほら！あそこに飛行機が飛んでるよ！」
- ・「飛行機を下から見た！」

④港湾業務艇「くるしま」に乗船して、
普段あまり見ることがない“海側”から
松山港、松山空港を見学。





○平成24年度 優良工事等事務所長表彰を実施しました。

7月20日(金)、当事務所において、建設功労者に対する松山港湾・空港整備事務所長表彰の表彰式を実施しました。
この表彰は、当事務所が発注した工事・業務において成績が優秀な企業等を表彰するものです。
今年度は、以下の方々が受賞しました。

【表彰区分】 優良工事（1社）
【会社名】 協和道路株式会社
【工事名】 松山空港誘導路改良工事
【受賞理由】 施工時間に制限がある中、丁寧な施工による品質・出来栄への向上に取り組み、優良な工事を完成させ成績が優秀であったため。

【表彰区分】 優良業務（1社）
【会社名】 財団法人港湾空港建設技術サービスセンター
【業務名】 来島海峡航路施工法等検討業務
【受賞理由】 自然環境・交通環境ともに厳しい箇所における施工検討にも拘わらず、高度な判断力で効果的な成果を上げ成績が優秀であったため。



▲おめでとうございます
受賞した方々と記念撮影

○「みんなの生活展2012」に参加しました。

10月20日(土)、10月21日(日)の2日間、松山大街道商店街において、松山市・みんなの生活展連絡協議会が主催する「みんなの生活展」(テーマ：安全・安心 ～みんなの笑顔のために！～)が開催されました。

当事務所は、環境プラザ部門に出展して海のゴミ問題に関するクイズを交えながら、当事務所所属船舶の海面清掃兼油回収船「いしづち」のパネルや模型を展示し、瀬戸内海を美しく守るために海面に浮遊するゴミや油を回収する海洋環境整備事業の紹介を行いました。

ブースに来られた方からは、「どんなゴミが浮かんでいるの?」「海に冷蔵庫を捨てる人がいるの?」などの質問や、「こんな仕事があるとは知らなかった。」「ゴミを減らすためにもっとPRすべき。」といった貴重なご意見を頂きました。

展示していた模型での説明が、子どもたちにも好評で「海にゴミを捨てないようにします。」と約束してくれた子どももいました。



▲海面清掃兼油回収船「いしづち」



▲多数の方々に来て頂きました



▲ゴミの回収方法を説明するスタッフ

○八幡浜港みなとオアシス「じゃこカツ」第3位！



みなとオアシスSea級グルメ全国大会 ～ in ONAHAMA ～

10月6日(土)、10月7日(日)の2日間、福島県いわき市小名浜港アクアマリンパークにおいて、「第2回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inONAHAMA」が開催されました。



▲メインステージの様子



▲大盛況！
八幡浜港みなとオアシスのブース

愛媛県からは、八幡浜港みなとオアシス「じゃこカツ」が出店。全国各地から集まった大勢の人々に、四国の魅力、愛媛の魅力、八幡浜の魅力を伝えて頂きました。その熱意が伝わったのか、同日開催されましたSea級グルメの人気投票で見事3位に受賞しました。



★News & Topics

○「第4回みなとオアシス全国協議会総会」が開催されました。

10月5日(金)、福島県いわき市「アクアマリンふくしま」において、第4回みなとオアシス全国協議会総会が開催されました。この会は全国のみなとオアシス関係者が一同に会して日々の活動報告、意見交換を行うために毎年開催されています。

当日は、株式会社バス・コーポレーション代表取締役 小熊 俊行 講師から「人が集まる魔法～東京ディズニーランドとおかげ横丁に学ぶみなとまちづくり～」、アクアマリンふくしま館長 安部 義孝 講師から「災害に強いウォーターフロントづくりー安全が最大のサービス」と題した講演が行われました。

講演後には、集まった全国のみなとオアシス関係者によって、「みなとが持つ観光資源を高めるためにはどうすべきか」「地域と連携したみなとまちづくりを進める良い方法はないか」など活発な意見交換が行われました。



▲講師：株式会社バス・コーポレーション
代表取締役 小熊 俊行 氏



▲講師：アクアマリンふくしま館長
安部 義孝 氏

○「中四国・瀬戸内クルージングサミット」が開催されました。

10月9日(火)、広島県尾道市「ペラピスタ境ガ浜」において、「中四国・瀬戸内クルージングサミット」が開催されました。

この会は、意見・情報の交換のために、瀬戸内海でマリーナを有する自治体が集まって定期的に開催されています。はじめに、瀬戸内海汽船株式会社 取締役航路事業部長 小谷 正之 講師によって『「せとうち船旅観光」の魅力瀬戸内海汽船の取組』と題した講演が行われました。

続いて、福山市、高松市、瀬戸内市、三豊市、新居浜市の各市長によるクルージングサミットが行われました。各市の取り組みの紹介、また瀬戸内海を利活用した観光産業の紹介など積極的な意見交換が行われました。

最後にサミットに参加した5市長によって、恵まれた自然環境やイベントを通じて都市連携の輪を広げるための共同宣言が策定されました。

中四国・瀬戸内クルージングサミット 共同宣言
～恵まれた自然環境やイベントを通じて都市連携の輪を広げよう！～

①各市の様々なイベントの連携を図り、それを積極的かつ広域的に情報発信することにより、瀬戸内海の新たな魅力の再発見を促進します。

②点在する瀬戸内海の海の史跡、地域資源やイベント等を活用し、民間事業者等との連携により瀬戸内海を満喫できるクルージングのモデルコースを提案するなど、更なるビジネスチャンスの拡大をサポートしていきます。

③文化・イベント・観光情報を関係団体が積極的に提供し合い、そこに船という交通手段を組み込んだ新たな瀬戸内観光ルートを民間事業者等と協働で創り上げていきます。そして、この取り組みを通じて、瀬戸内海地域に「人、モノ、情報」の動きを創り出し、地域経済の活性化と、人や文化の交流拡大に努めます。

また、併せて体験クルージング（境ガ浜～福山市鞆の浦）も開催されました。
参加者は、美しい瀬戸内海の魅力を再確認されたようでした。



▲講師：瀬戸内海汽船株式会社
取締役航路事業部長 小谷 正之 氏



▲5市長による共同宣言



国土交通省 四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058
松山市海岸通 2426-1
TEL 089-951-0161 (代表)
FAX 089-946-8010

